



伊豆東岸定置網 2020年上半期漁海況予報

神奈川県水産技術センターと共同で、2020年上半期（1～6月）の漁海況を予測しました。

近年、伊豆東岸定置網における水揚量は減少傾向にあります。マサバ、マイワシ、ブリ資源は高水準にあり、海況次第ではまとまった来遊が期待できます。一方、ゴマサバ、カタクチワシ資源は低水準にあり、来遊量は前年並み～前年を下回ると予測しました。マアジは昨年下半年にじんだ（小型当歳魚）の入網が多かったことから、低調ながらも前年を上回る来遊があると予測しました。

黒潮は2017年9月中旬以降、大蛇行流路が継続しています。大蛇行の影響か、近年ほとんど水揚げの無かったクサヤモロが昨年によく入網するなど、特異的な現象も見られています。今後も大蛇行流路は継続する見通しであり、漁海況への影響が懸念されます。

表 伊豆東岸定置網における2020年上半期の漁海況

| | |
|--------|--|
| 海況 | 黒潮は期間を通して大蛇行流路で推移する。 沿岸水温は「平年並み」～「やや高め」で推移する。 |
| マアジ | 来遊量は前年を上回る（前年上半期漁獲量：31トン）。 体長20cm前後主体。 |
| マサバ | 来遊量は前年を上回る（前年上半期漁獲量：174トン）。 体長30～35cm主体。 |
| ゴマサバ | 来遊量は前年を下回る（前年上半期漁獲量：268トン）。 体長30～35cm主体。 |
| マイワシ | 来遊量は前年並み（前年上半期漁獲量：110トン）。 体長13～15cm主体に18cm以上も漁獲される。 |
| カタクチワシ | 来遊量は低調な前年並み（前年上半期漁獲量48トン）。 体長9～11cm主体。 |
| ブリ | 来遊量は前年並み（前年上半期漁獲量：249トン）。 ぶり・わらさ銘柄主体。 |

伊豆地区から指導漁業士5名が認定

1月20日に令和元年度の漁業士認定式が県庁で行われました。認定されたのは、いとう漁協の齋藤昌弘さん、伊豆漁協稲取支所の栗田友喜さん、伊豆漁協南伊豆支所の山本正晃さんと山田茂人さん、伊豆漁協安良里支所の稲毛義人さんの5名です。主に一本釣り漁業に従事しており、既に各地で活躍されている方々です。これからも、地域の中心としてさらなる活躍に期待したいと思います。



漁業士を代表して、いとう漁協の齋藤昌弘さんが知事から認定証書を受け取りました。

網代漁業がふじのくに奨励賞受賞

1月10日、静岡県庁で令和元年度「ふじのくに未来をひらく農林漁業奨励賞」表彰式が行われ、熱海市で大型定置網を運営する「網代漁業株式会社」が表彰されました。網代漁業株式会社は、首都圏の自社小売店や飲食店への出荷、定置網で漁獲した小型のブリやサバの蓄養出荷、サクラマス海面養殖を行っており、こうした先進的な取り組みが評価され、表彰されることとなりました。

網代漁業株式会社の今後の更なる活躍を期待します。



解説：ふじのくに未来をひらく農林漁業奨励賞：静岡県において、先進的かつ模範的な取り組みをした農林漁業者に与えられる賞で、県知事より表彰される。

2月の予定 ●4・5日に一都三県キンメダイ資源管理実践推進漁業者協議会が千葉県南房総市で開催されます。●県漁業士会総会が伊豆長岡で7日に開催されます。●14日に静岡県水産物出荷組合連合会総会(沼津市)で当該職員がキンメダイ資源について講演します。

連絡先：静岡県水産技術研究所伊豆分場 〒415-0012 下田市白浜251-1 電話：0558-22-0835

アドレス：suigi-izu@pref.shizuoka.lg.jp ホームページ：http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/izu

会場には、自由に見学できる展示施設があります。皆様のお越しをお待ちしています。